



品川シルバー大学同窓会

令和元年 11月 27日

会 報

第 84 号

品川シルバー大学同窓会
〒140-0062
品川区小山6-6-10

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

台風による広範囲な災害
お見舞い申し上げます。
品川シルバー大学同窓会役員一同

第 3 回 見学会 報告

- 日 時 令和元年9月19日 (木)
- 場 所 キリンビール横浜工場
- 参加者数 79名



キリンビール横浜工場見学コースについて
操業より90余年を迎える横浜工場へ、20年数年前に、立派な見学コースができたということで見学に行き、試飲もしたことを覚えています。その時とは大違い。エンターテインメント盛りだくさんで、楽しく見学できました。
以下、リポーターには最適な「一番搾り党」、金森さんの詳報を！

キリンビール横浜工場見学

金森 好昭

日本の各ビールメーカーのビールは本当においしくなっただと思います。私は夕食時や外食時において「一番搾り」が出るまではいろいろな銘柄のビールを飲んでいましたが当該



ビールが出てからは一番搾りのみです。
暑い中、見学先のエントランスに入ったところ、真新しく綺麗になっていました。それは、2016年10月にリニューアルされたばかりの由。見学ツアーは、1班と2班とに別れ、先ずシアタールームでキリンビールの歴史を学習。かつては外国人のみが住む居留地だった横浜山手に日本で初めてビール醸造所が作られたとのこと。

次に、エスカレーターを上り、原料である麦芽とホップの展示コーナーへ移動。大麦麦芽を2～3粒食べてみる旨の案内で、食べてみて香ばしく、また他の人も同じような感想のことばがあちこちで聞こえてきた。キリンビールで使用する大麦麦芽は二条大麦にて、一番搾り



生ビールは通常のビールより1.5倍の量の麦芽を使っているとのこと。その後、ホップの匂いを嗅ぐためホップを割ってみると、独特の匂いがありました。

次の場所は、仕込み用の大きな釜の展示場所で、プロジェクションマッピングにより説明を受けた後、大きなガラス面の先に、大小のステンレス製の仕込み釜が人気のない中で静かに輝いていました。それは先の二条大麦の麦芽を煮込み酵素の働きによって「もろみ」という麦のおかゆを作り「もろみ」の中のエキス分を抽出し、麦汁の中にホップを加えて煮込んでいき、それがビール独特の苦みと香りとなるとのこと。その「もろみ」のエキスの自然に流れ出たものが「一番搾り」麦汁となるとのこと。その麦汁の中にビール酵母を加え、発酵タンクに貯蔵する。その発酵タンクは129本ある由。

次に移った場所で小さなプラスチック容器に「一番搾り麦汁」と「二番搾りの入った麦汁」の飲み比べをしました。見学者の皆さんは味と香りの違いに口々に小さな感嘆の声を上げていました。



次に白いテーブルがある展示スペースに移動。ビール酵母の働きとして、当該酵母は麦汁に含まれる糖分を食べるところをテーブルに映ったアニメーションでビールとなる点を見て理解しました。

工場見学を見終わった後、1階に戻った時には早く飲みたい気持ちとなりました。和やかな雰囲気の中、一人3杯試飲。これまでよりビールが好きになった感あり。このように知識が得られかつ、実益のある見学会の企画をして下さった役員の方々に感謝。

(2018年入会)



参加者からのひとこと感想

- いろいろなビール会社で見学したが、映像や社員の説明が上手で大変良かったです。
- キリンビール最高! これからも同窓会よろしく!
- ビール工場見学は初めてだったので楽しく過ごせました。
- 大変楽しく見学しました。試飲は最高でした。待機時間が長いようです。工夫はないでしょうか。
- ビール試飲の席で親しく話ができて良かった。(初めての人と) 親しい人とバラバラに申し込み途中で別れたのは少し寂しかった。でもそれも又良いかも。
- 説明も解りやすく、面白かった。できたてのビールはおいしかった。特にプレミアム。予約しているのに建物に入ってから40分も待たされたのはどうかと思います。集合時間に間に合わせるのに、昼食をとる時間もなくなってきたので。
- さわやかな好天に恵まれとても良い体験をさせて頂き、最後のビールの試飲も初めて飲む黒ビール美味しかったです。
- 見学コースも良くできていて、ビールの工程が良く理解できました。さすがキリンビール!



企画お疲れさまでした。2班は時間がありすぎでした。40分待つのはつらい感じです。

- ビールの説明も良かったです。ビールの3種類飲み比べよくわかりました。おいしかった! 好きなビールは一番搾りだったのでとても良かったです。
- 試飲たっぷりで大満足! どれも美味しくいただきました。チーズ味柿の種も♡
- 出来立てビールをたんのうしました。企画ありがとうございました。

第3回講演会報告

「令和」で読み解く『万葉集』

清泉女子大学 日本語日本文学科
専任講師 仲谷 健太郎 先生

- 日 時
令和元年10月23日(水)
- 場 所
中小企業センター
レクリエーションホール
- 参加人数
71名



講演要旨

新元号「令和」の発表以来、『万葉集』への注目が高まっている。「令和」の出典が『万葉集』の「梅花歌三十二首」の序文、「初春の令月にして、気淑く風和ぐ。梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」にあることは元号発表時の会見や各種報道においても盛んに取り上げられていた。しかし発表から数日も経ぬうちに、二世紀前半の張衡という人物が作った「帰田賦」(『文選』所収)に、「是に於て、仲春令月、時和し気清し」という、「梅花歌三十二首」序の出典部分に類似し、しかも「令」「和」を含む一節があることが指摘される。それを以って、「令和」が漢籍からの盗用ではないか、と一部メディアやSNSを騒がせた。

しかし、これは明確な誤りといわざるを得ない。前提として、当時の日本には経書や詩集など、幅広い種類の漢籍が大量に移入されており、中国(唐)の文学作品から極めて強い影響を受けていたことが明らかである。特に、この「帰



田賦」が収められる『文選』という書物は、当時の上級官人の登用試験にも用いられたほど重要視された書物であり、正倉院文書や木簡にも多くの書写記録が残されている。

また、「梅花歌三十二首」序の表現が全て「帰田賦」を襲っているわけではないことにも注目すべきだろう。例えば、「風和ぐ」の部分は、「帰田賦」では「時和し」とあり、表現が異なる。この部分は、四世紀の書家、王羲之による「蘭亭集序」の「是の日や、天朗らかに気清く、恵風は和暢せり」という一節に基づいていると思しい。奈良時代において王羲之は書家の代表として認識されており、かつて正倉院には王羲之の肉筆が収められていた記録も残ることが傍証となるだろう。

したがって、先行して存在した様々な漢籍の表現を再構築したものが「梅花歌三十二首」序であると考えられるべきだろう。中国において、作文の際にはオリジナルな文章ではなく、先人の文を換骨奪胎するのがマナーであった。「梅花歌三十二首」もそうした作法にのっとったものであり、これは盗用ではなくオマージュといえるべきだ。背景に様々な漢籍の表現を背負っている「梅花歌三十二首」であるからこそ、これまでの漢籍から元号を選定するという伝統を保持しつつも、国文学にその出典を持つといえ、元号選



定の新たな地平線が切り拓かれたと評することができる。

この「令和」の新たな時代に、『万葉集』への興味を持っていただけると幸いである。

参加者からのひとこと感想

- ・興味あるテーマにひかれて出席しましたが、とてもおもしろくて楽しいひとときでした。万葉集と王羲之とのつながりを知りびっくりしました。
- ・昨日の即位式もあり「令和」を学べることでより時代考察の知識をえることが出来ました。高校で学んだ古文を思い出しながら聴講いたしました。
- ・令和の梅花歌の引用がよくわかり良かった。先生の声は聞きやすい。内容がややむずかしかった。
- ・大変難しいのですが分りやすく、はっきりと説明して頂きました。もう少し勉強しておけばよかったと反省しております。
- ・奈良時代は中国からの文化を取り込むさまざまな先生の話からうかがえる。その上で万葉集はそれを前提とした文化を確立していることが理解できる。
- ・パクリとオマージュについてのちがいがよく理解出来ました。令和は万葉集が出典であるとも合わせて理解出来ました。
- ・講演の内容が、聞けば聞くほど深いお話でしたが、自分にはむずかしいかな。
- ・令和の年なので万葉集から出たとの事、ぜひ先生のお話を聞いてみたいと思いました。なかなかわかりやすく良かったです。

川柳雑詠

ふるさとに電気畑がふえている
キャシュレス元々札がありません

孫帰り元の粗食になる夫婦
大スターにもなれそうな子の名前
カタカナ語ラブとユーシカ言わぬババ
遅刻してくどい言い訳底が割れ

のぼる
のぼる

公二
公二
邦彦
邦彦

「ほのぼの川柳会（旗の台文化センター）」より

- ・今後もこういった講座を受講する機会があれば嬉しいです。20年前葛城山のすぐ近くに住んだ事があり、万葉の講座を心待ちしています。

あとがき

年内最終号になりました。会員の皆様からたくさんのご意見をいただき、同窓会も無事、年末を迎えることができます。

台風が続き、大変な秋でした。皆様の明るい新年をお祈りいたします。(S.K)

講演会・見学会のご案内

★A 講演会(第4回)

演題 「日本音楽高等学校」による

クリスマスコンサート

出演 日本音楽高等学校
音楽コース生徒・他

日時 令和元年12月24日(火)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

場所 きゅりあん1階小ホール

★B 見学会(第5回)

行先 花王ミュージアム見学

日時 令和2年1月28日(火)①と②

集合 JR亀戸駅北口亀戸駅前交番横

①午前の部 9時00分～9時30分

②午後の部 12時30分～13時00分

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。

多数の方のご応募をお待ちしています。

締切日 令和元年12月6日(金)

~~~~~

#### ★今後の行事予定

(詳細は来年1月にご案内)

#### ・第5回 講演会

(区民プロデュース型講演会)

演題 「徳川家康の都市創り」

なぜ江戸を選んだのか

日時 令和2年2月28日(金)

#### ・第6回 バス旅行

行先 成田山新勝寺・他

日時 令和2年3月中旬